

先生各位

「ヘモグロビンA1c(HbA1c)」の 国際標準化への変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、HbA1c値の表記につきましては我が国ではJDS (Japan Diabetes Society) 値が用いられて参りました。しかしながら、国際的には臨床・学術の両面で広く評価されているNGSP (National Glycohemoglobin Standardization Program) 値が採用されており、JDS値との差(約0.4%)が明らかとなっています。このため、検査の国際化に伴い、我が国でもNGSP値を表記することが必要になりました。

このたび日本糖尿病学会より発表されたヘモグロビンA1cの国際標準化の基本方針に対応すべく、下記の検査内容を変更させて頂きたくご案内申し上げます。

何卒宜しくご了承賜りますようよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

- 変更実施日 2012年4月2日(月)受付分より

- 新規項目

国際標準値(NGSP値)によるヘモグロビンA1cの受託を開始いたします。

項目コードNo.	検査項目
4929	HbA1c(NGSP)

- 変更項目

JDS値はNGSP値から換算してご報告いたします。

項目コードNo.	検査項目
1058	HbA1c(JDS)

- 変更内容

掲載頁	項目コード	検査項目	変更箇所	新	現	備考
14	1058	ヘモグロビンA1c (HbA1c)	項目名称	HbA1c(JDS)	ヘモグロビンA1c	JDS値の表記を追加しました。
			検査方法	酵素法(計算法)	酵素法	

【ヘモグロビンA1c(HbA1C)の国際標準化への移行について】

● 対象項目 [1058] ヘモグロビンA1c(酵素法)

● 日本糖尿病学会が示す基本方針

◇日常臨床及び特定健診・保健指導におけるHbA1c表記

(1)日常臨床

平成24年4月1日よりHbA1cの値はNGSPを用い、当面の間、JDS値も併記する。

(2)特定健診・保健指導

システム変更や保健指導上の問題を避けるため、平成24年4月1日～平成25年3月31日の期間は、受診者への結果通知及び保険者への結果報告のいずれも従来通りJDS値のみ用いる。

◇検査項目について

(1)NGSP値で表記される名称は、HbA1cは、「HbA1c(NGSP)」若しくは「A1C」とする。

(2)JDS値で表記される名称は、「HbA1c(JDS)」若しくは「HbA1c」とする。

◇HbA1c(NGSP)は、従来のHbA1c(JDS)と次の関係式で表現する。

(関係式) $HbA1c(NGSP) = 1.02 \times HbA1c(JDS) + 0.25$

(換算式) $HbA1c(JDS) = 0.980 \times HbA1c(NGSP) - 0.245$

● 糖尿病診療に用いるHbA1c値の変更内容

項 目	HbA1c(NGSP)	HbA1c(JDS)
基 準 範 囲	4.6%～6.2%	4.3%～5.8%
診 断 基 準	≥6.5%	≥6.1%
コントロール目標値	<6.9%	<6.5%
糖尿病疑いが否定できない	6.0%～6.4%	5.6%～6.0%
将来の糖尿病発症の高リスク群	5.6%～5.9%	5.2%～5.5%